

# 平成30年度第3回事業承継セミナー開催！

～中小企業診断士・石橋研一氏&柴田将芳氏が「いかに継がすか？いかに継ぐか？」について講演～

大阪府中小企業団体中央会では7月5日(木)、シティプラザ大阪において「平成30年度第3回事業承継セミナー」を開催いたしました。参加者は46名でした。

まず第1部、講演のテーマは「いかに継がすか？」、講師は中小企業診断士・税理士の石橋研一氏。



石橋 研一 氏

石橋氏は、(1)「誰に」「いつ」継がせるか、(2)「何を」「どのように」継がせるか、(3)個人資産の引き継ぎ方、(4)後継者への株式の集中、(5)具体的な承継方法、(6)後継者教育のそれぞれの項目につき、レジュメを基に詳しく説明されました。



柴田 将芳 氏

その後、第2部の講演テーマは「いかに継ぐか？」、講師は中小企業診断士の柴田将芳氏。

柴田氏は、(1)後継者が受ける5つの圧力として、①経営陣からの圧力、②外部からの圧力、③他の後継者候補からの圧力、④従業員からの圧力、⑤後継者自身がつもつ内圧(葛藤)、(2)後継者がつべき4つのスキルとして、①テクニカルスキル、②コンセプトualスキル、③ヒューマンスキル、④遂行・実行力、(3)後継者育成事例のそれぞれの項目につき、レジュメを基

に詳しく説明されました。

そして第3部では、石橋氏と柴田氏のトークセッションが行われ、「現経営者と後継者が抱える想い」、「後継者育成について」、「支援者としての事業承継に対する想い」の項目につき、それぞれの意見や思いを熱く語られました。

今回の講演は、現経営者である石橋氏(石橋経営会計事務所所長)と中小企業の元後継者であった柴田氏が、それぞれの経験に基づく事業承継への想いや具体的な承継方法等につき、様々な事例を絡めながら説明が行われ、経営者並びに後継者にとって今後の事業承継を考える上で大変参考となる内容のものでした。終了後のアンケートにも、「事業承継のソフト、ハード双方の部分の話の分かり易く聞くことができ大変参考になりました」、「事例などの紹介もあり、非常に分かり易い講演でした」、「事業承継についての基本的事柄について整理が出来ました」等々の感想が寄せられ、盛況の内に第3回事業承継セミナーは終了いたしました。

事業承継については本年5月に、中央会をはじめ自治体や商工会、商工会議所など多くの中小企業支援機関が構成メンバーとなって「事業承継ネットワーク」が立ち上げられ、経営者の皆様のお役に立てるようなご支援をさせて頂くこととなっており、今後ともこのような事業承継準備の「気づき」の機会となるようなセミナーを実施してまいりたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非、次回以降も多数ご参加を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

